

## 農林水産部

### 第18回環境保全型農業推進コンクールにおいて JAおきなわ具志川支店 グアバ生産部会が優秀賞を受賞



去る3月14日（木）、第18回 環境保全型農業推進コンクールにおいて、JAおきなわ具志川支店グアバ生産部会が優秀賞を受賞しました。

環境保全型農業推進コンクール（主催：全国環境保全型農業推進会議）は、有機農業を始めとする環境保全型農業の確立を目指し、意欲的に経営や技術の改善に取り組み、農村環境の保全活

動を通じ地域社会の発展に貢献している農業者等を表彰しています。

JAおきなわ具志川支店グアバ生産部会では、生産者24戸、4.5haで赤土流出防止対策等、環境に優しいグアバ茶栽培を行っています。

耕土流出防止対策として圃場の部分耕起や草生栽培を行い、圃場周辺にハイビスカス、千年木（ドラセナ）の植

栽も試みられています。特に、グアバは幼木の期間うね間が広いとため、中耕除草を避け草生栽培を行っています。

また同部会では、高齢者が容易に管理作業が行えるよう、低木化栽培を実践しているほか、生産・加工・販売を一体化する6次産業化にも取り組んでおり、新たな雇用を創出するなど地域の活性化に貢献しています。



草生栽培



グアバの管理作業



グアバ茶製品



表彰式の様子



農林水産部

## 6次産業化の推進及び農林漁業成長産業化ファンド促進のための説明会を開催



沖縄総合事務局は、「攻めの農林水産業」を進める上で、6次産業化の更なる推進を図るとともに農林漁業成長産業化ファンドの活用を促進するため、沖縄6次産業化サポートセンターとの共催により、5月24日(金)、石垣市役所2階会議室において、「6次産業化の推進及び農林漁業成長産業化ファンド促進のための説明会」を開催しました。

沖縄における六次産業化・地産地消法に基づく事業計画の認定件数を市町村別に見たとき、石垣市が10件と最も多く、6次産業化への関心が高いことがうかがえます。このため、同市において説明会を開催することとなり、当説明会には6次産業化認定事業者、農業者、商工業者等約70名の参加がありました。

当局からは、6次産業化の制度、県内の事業計画の認定状況、認定の事例及び支援事業について説明を行いました。

また、沖縄6次産業化統括プランナーの田崎聡氏からは、「6次産業化の展開と

基本課題～成功する地域ブランドづくり～」について、6次産業化を成功させるカギの一つとして、商品の差別化・ブランド化が必要であること、強い地域ブランドづくりのためには、オンリーワンであることや持続性が重要であること等の説明がありました。

株式会社農林漁業成長産業化支援機構シニアディレクターの浅野晃司氏からは、農林漁業成長産業化ファンドについて、当ファンドを活用するためには、農林漁業者がパートナー企業の協力等を得て、出資の受け皿となる6次産業化事業体を設立し、新たに6次産業化の事業計画の認定を受ける必要がある等の説明がありました。

質疑応答では、参加者から、「6次産業化事業体を設立する場合は、農林漁業者は必ずパートナー企業と組まなければいけないのでしょうか。」との質問があり、浅野氏は、「農林漁業者が既に2次、3次産業に取り組んでいる場合は、パート

ナー企業と組まずに、6次産業化事業体を出資等により設立することは可能です。」との回答を行うなど、参加者の当ファンドに対する関心の高さが伺えました。沖縄総合事務局では、今後とも沖縄における6次産業化の推進を図るため、各地域で説明会を順次開催することとしています。



挨拶をする馬場農林水産部長



説明会の様子

農林水産部

## 六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の平成25年度第1回の認定を行いました



沖縄総合事務局は、「攻めの農林水産業」を進める上で、6次産業化の更なる推進を図るため、「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」(六次産業化・地産地消法)に基づき申請された「総合化事業計画」について、5月31日(金)に、平成25年度第1回目として2件の認定を行いました。平成23年の法施行以降、これまでに累計44件の認定となりました。

本認定を受けた農林漁業者等は、農業改良資金(無利子資金)及び新スーパーS資金(短期運転資金)の融資申請の対象者となるほか、新商品の開発・販路拡大や施設整備に係る補助事業、民間の専門家である6次産業化プランナーによる事業計画実施のアドバイス等の支援を受けることが可能となります。

なお、次回(25年度第2回)の認定は、10月末を予定しており、引き続き事業計画の申請を受け付けています。

また、農林漁業者や農業法人等の皆様で、6次産業化事業についてお問い合わせ等がありましたら、「6次産業化総合相談窓口」まで御連絡ください。

NO	事業者	事業名	市町村
1	農業生産法人 有限会社 今帰仁アグー	「今帰仁アグー」の生産拡大及び加工、販売促進総合化事業	今帰仁村
2	農業生産法人 有限会社 ロングビーチ ランド	すっぽん加工食品の製造販売のための養殖及び加工事業	本部町



今帰仁アグー



養殖のすっぽん

### 【6次産業化総合相談窓口】

沖縄総合事務局農林水産部食品・環境課  
那覇市おもろまち2-1-1  
那覇第2地方合同庁舎2号館8階  
TEL: 098-866-1673  
FAX: 098-860-1179

運輸部

## 平成25年度陸運及び観光関係功労者 沖縄総合事務局長表彰式を開催



5月15日(水)、沖縄都ホテル虹雲の間において、関係者多数の出席の下、平成25年度陸運及び観光関係功労者沖縄総合事務局長表彰式が行われました。

本表彰は、県内において自動車運送事業、自動車貸渡事業、自動車整備事業及び自動車販売事業の陸運関係事業並びに観光関係事業に従事する役員、職員で当該事業に対する功績が顕著であった方、また、永年にわたり業務に精励し、勤務成績が優秀な方に対し毎年表彰を行うものです。

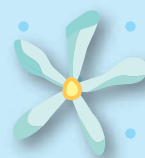
今年度の受賞者は、事業役員10名、事業職員16名(従業員2名、運転者11名、自動車整備士等3名)の計26名の方で、樋谷局長から受賞者1人1人に対し、永年の功績に対する表彰状が授与されました。

受賞者を代表して、合資会社屋部産業の代表社員山本茂富氏は、「なお一層研鑽を重ね、業界の良き指導者として精進し社会の信頼に応えるよう全力で取り組んでいきたい。」と謝辞を述べられました。



運輸部

## 平成25年度陸運関係功労者 陸運事務所長表彰式を開催



6月14日(金)、沖縄総合事務局陸運事務所において、「平成25年度陸運関係功労者表彰」の表彰式を行いました。

本表彰式は、県内において自動車関係事業(バス・タクシー・トラック事業、貸渡事業、販売事業、整備事業等)に従事する役員、従業員等で当該事業に対する功績が顕著であった者及び永年にわたり業務に精励し勤務成績が優秀な者に対し毎年行われています。

今回の表彰は、事業役員12名、従業員11名、自動車運転者13名、自動車整備士等10名、運行管理者1名の計47名に対して授与されました。

松山所長は、被表彰者への挨拶の中で、「多年にわたり陸運関係事業に精励されるとともに、それぞれの分野で長年培ってきた豊富な知識と技能を発揮して安全で質の高いサービスを提供し、今

後とも業界のレベルアップを図っていただくよう期待したい。」と激励し、表彰状を授与しました。

表彰後、被表彰者を代表して運行管理者で受賞した沖縄バス株式会社大城薫氏は、「本日の受賞が受賞者のみならず陸運関係事業に従事する多くの人達の励みとなり、広く県民の期待に応えるためにも、これまで以上に業務に精進していきたい。」と抱負を述べました。



表彰状の授与



被表彰者代表謝辞



バス協会関係記念撮影



## 運輸部

### 全国で小型船舶に対する安全キャンペーンを実施！

国土交通省では、効果的に海上の安全の確保を図るため、例年多くの国民が釣り・クルージングなどのマリレジャーを楽しむゴールデンウィーク及び夏期休暇の時期に、船舶検査の受検及び小型船舶操縦免許に関する周知啓発に係る活動として警察、海上保安庁などの協力を得て、小型船舶の安全キャンペーンを実施しています。

沖縄県内でも、沖縄総合事務局運輸部の職員が小型船舶の安全確保に向けて、警察、海上保安庁と連携して、次の事柄を重点事項として安全キャンペーンに取り組んでいます。

- ① 消防設備及び救命設備の適切な設置  
特にライフジャケットの適切な備付け・着用
- ② 船舶検査の適切な受検

#### ③ 小型船舶操縦免許の適切な受有

昨年の海事関係法令違反の送致件数は3,152件あり、無検査航行、定員超過等による船舶安全法違反の送致件数が1,497件で全体の47%を占めています。さらに、無資格運航による船舶職員及び小型船舶操縦者法違反の送致件数は462件となっています。

こうした状況を踏まえ小型船舶に対して、船舶検査受検の確認及び小型船舶操縦免許の確認を行う安全確保対策を海上保安庁等と連携して実施することとしています。



## 読者の声

本誌アンケートに対して寄せられた御意見・御要望を紹介いたします。今後の誌面作りの参考とさせていただきます。貴重な御意見ありがとうございました。

### 今後取り上げてほしいテーマ・企画等

- 基地がなければ便利になる道路等、交通渋滞と米軍基地の関係について(男性50代 会社員)。
- 沖縄県内全ての市町村長に国に対する思いをインタビューしてほしい。  
茶飲み話のようにシリーズで一人一人の真実が聞きたい(女性60代 自営業)。
- 那覇港の開発について(男性40代 会社員)。
- 那覇市等の情報が多いので、離島の現状等について(男性60代 公務員)。
- 地域で地道に活動している団体について(男性50代 公務員)。

### 沖縄総合事務局に対する御意見・御要望

- 本土にて購読しているので「わったー島」「さびら」など沖縄方言には訳を付けてほしい。  
同様に「漲水<sup>はうみず</sup>」などの地名にはフリガナを付けた方が良い(女性70代)。
- 財務部や公正取引室で実施している出張講座(予定)を新聞、フリーペーパー等でもっとPRしてほしい(女性40代 主婦)。
- 表紙に活字がなければ更に良い。切り取って飾ることができる(男性50代 自営業)。

